

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 24 年 7 月 5 日 (2012.7.5)

【公開番号】特開 2011-48252 (P2011-48252A)

【公開日】平成 23 年 3 月 10 日 (2011.3.10)

【年通号数】公開・登録公報 2011-010

【出願番号】特願 2009-198064 (P2009-198064)

【国際特許分類】

G 0 3 G 9/087 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 9/08 3 3 3

G 0 3 G 9/08 3 3 1

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 5 月 23 日 (2012.5.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 1】

前記エポキシ化合物として、1 分子中にエポキシ基の数が 8 より多くエポキシ当量が 280 より大きい化合物を前記モル比で 1 モル % より少ない量を用いたのでは、得られる電子写真トナーの耐ホットオフセット性が不十分となる為、好ましくない。前記エポキシ化合物として、1 分子中にエポキシ基の数が 8 より多くエポキシ当量が 280 より大きい化合物を前記モル比で 7 モル % より多く用いた場合は、ポリエステル樹脂 (A) の合成中に該樹脂 (A) がゲル化してしまいポリエステル樹脂 (A) を得にくい為、好ましくない。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 4】

前記ジカルボン酸として炭素原子数が 18 より大きいアルキル基を有するジカルボン酸を前記モル比で 14 モル % より少ない量を用いたのでは、得られる電子写真トナーの耐ホットオフセット性が不十分となる為、好ましくない。また、炭素原子数が 18 より大きいアルキル基を有するジカルボン酸を前記モル比で 40 モル % より多く用いたのでは、得られる電子写真トナーの低温定着性が不十分となる為、好ましくない。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 7】

前記ジオールとして炭素原子数が 18 より大きいアルキル基を有するジオールを前記モル比で 14 モル % より少ない量を用いたのでは、得られる電子写真トナーの耐ホットオフセット性が不十分となる為、好ましくない。また、炭素原子数が 18 より大きいアルキル基を有するジオールを前記モル比で 40 モル % より多く用いたのでは、得られる電子写真トナーの低温定着性が不十分となる為、好ましくない。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0090

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0090】

<耐ブロッキング性の評価方法>

40 50 % RH の環境下で 66 g / cm^2 の負荷をかけて 48 時間放置したトナーをサンプルとして用い、同サンプル 400 g を目開き $45 \mu\text{m}$ の篩いをセットした振動篩い装置で振幅 1 mm 30 秒間振動させた。篩いに残った凝集物の割合を下記の基準で評価した。凝集物の割合が小さいものほど耐ブロッキング性は良好である。

; 10 質量%未満の場合

; 10 ~ 20 質量%未満の場合

; 20 ~ 30 質量%未満の場合

× ; 30 質量%以上の場合